

平成21年度事業計画(案)

1 ネットワーク形成事業

(1) 理事会・通常総会(補助対象外)(継続)

九州地域バイオクラスター推進協議会の平成20年度事業・決算報告、平成21年度事業計画・予算(案)等について審議を行うため理事会・通常総会を開催。また、講演(連携促進事業:九州地域バイオベンチャーフォーラム)交流会を開催。

日程:平成21年5月20日(水)13:30~19:00

13:30-14:20 理事会(2階 フェスタ)

14:35-15:25 通常総会(3階 花筐)

15:40-17:10 講演(3階 花筐) 九州地域バイオベンチャーフォーラム

17:25-19:00 交流会(3階 花筐)

場所:ホテルセントラーザ博多

(福岡市博多区博多駅中央街4-23)

(2) クラスターマネージャー配置事業(継続)

九州地域バイオクラスター計画の深化と連携拡大を図るため、クラスター活動を総括する統括クラスターマネージャー(CM)及びサブ・クラスターマネージャー(SCM)を配置し、地域に密着した研究・商品開発、事業化支援活動等を実施。

CM 九州大学特任教授 深見 克哉

SCM (独)中小企業基盤整備機構 九州支部 九州地域支援事務局

プロジェクトマネージャー 藤崎 弘之

SCM (株)ベジセレクト 代表取締役 池田 透 CEO

(3) 企画運営委員会(ネットワーク強化委員会)事業(継続)

ネットワークの強化・拡大を図るため、協議会の活動・運営の方向性、関連事業等の実施方針、部会活動等の検討を実施。

<第1回企画運営委員会>

日程:平成21年4月24日(金)13:30~16:00

場所:ホテルニューオータニ 2F セキレイ

主な議題:平成20年度事業報告・収支決算報告

平成21年度事業計画・収支予算案

ロゴ使用規程・商品開発支援事実表示に関する規定

その他協議会の運営に係る諸課題

<第2回企画運営委員会>(予定)

日程:平成21年12月~平成22年1月頃開催予定

主な議題：平成21年度事業進捗状況報告
平成22年度事業計画素案審議
その他協議会の運営に係る諸課題

(4) 地域間ネットワーク強化・構築事業(補助対象外)

九州各県・政令市、団体等のバイオ関連産業担当者が保有する情報を共有化し、担当者間連携を促進するため、九州地域バイオ関連産業担当者連絡会議を開催。

日程(予定):平成21年6月～7月頃開催予定

(5) ワーキンググループ(部会)設置事業(継続)

企画運営委員会のもと、「九州地域バイオクラスター計画」推進に向けたより具体的な事業の検討等を行うためワーキンググループを設置・運営する。平成21年度は、「マーケティング部会」において、主に協議会が実施する販路開拓支援事業に関し企画・進捗管理・評価等を行うとともに、翌年度に向け協議会として実施すべき販路開拓支援事業の方向性につき審議し企画運営委員会に対して提言を行う(年4回程度開催予定)。

2 新事業創出支援事業

(1) 機能性評価等支援事業(継続)

平成19年度事業で調査した九州内の公設試、試験研究機関、大学等の成分分析、機能性評価試験対応項目等につき、平成20年度に協議会のHP上で運用可能なデータベース構築を行った。平成21年度からはこのデータベースを運用・活用し、ID・パスワードにより協議会会員自らが情報検索可能な体制を構築。さらに、CM、SCM等による、機能性評価・成分分析等に関する個別の相談・コーディネート等、会員からの相談に対応を開始する(平成21年4月より運用開始)。

(2) 事業化案件発掘支援事業(補助対象外)(新規)

クラスター協議会の重要な目標のひとつである事業化の推進のため、協議会会員企業に対して支援を希望する潜在的な事業化案件に関する公募を実施。CM、SCMによる重点支援案件を認定し、研究開発、機能性等評価、販路開拓等幅広い分野においてCM、SCMによる集中的なサポートを実施する。(公募予定:平成21年6月)

(3) IMと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業(継続)

インキュベーションマネージャー、科学技術コーディネーター等の各地域における産業支援人材と弁理士・弁護士等高度な知識を有する人材の交流・ネットワーク化を図るため、交流、意見・情報交換を実施。各地域における産業支援人材の資質向上や高度人材とのネットワーク化を通じて、それぞれの地域における産業支援上の問題解決能力向

上を図る。平成21年度は、年2回の開催見込み。

(4) フードバイオビジネススクール(継続)

崇城大学が経済産業省より認定を受けた「産学連携人材育成事業」との共催のうえ実施。平成20年度に策定したカリキュラム・スケジュールに基づき平成21年度夏に本格的なスクールを開催予定。フードビジネスを総合的に学習し、戦略的な事業展開ができる人材育成を目指す。

(5) バイオトレーニング(継続)

バイオ関連分野共通の中心技術となる生物由来物質の検索、検出技術の基本原理の学習と基本操作実習を実施。北九州工業高等専門学校と共催で8月頃に実施予定。

3 連携促進事業

(1) 研究機関等現地研修会(補助対象外)(継続)

機能性食品・健康食品に関連する研究機関や工場等を実際に訪問し先進的な事例について視察・研修を行い、会員の知識向上を通じて今後の業務に役立てる。10～11月頃開催予定。

平成20年度は熊本地域において、同仁化学研究所、東洋新薬熊本工場、(独)農業・食品産業技術総合研究所(九州沖縄農業研究センター)の視察を実施。

(2) 九州地域バイオベンチャーフォーラム(継続)

関係者一体となった広域的な産学官連携の促進強化を図るためのシンポジウムを実施。九州地域バイオクラスター推進協議会通常総会時に開催。

九州地域バイオベンチャーフォーラム in 福岡(通常総会時)

協議会会員企業事例発表(15:40～16:10)

(1) 有石橋屋 石橋 渉 氏 (平成20年度国際マーケティング支援事業報告)

「ニューヨーク日本食品市場調査報告」

(2) 株久留米リサーチパーク(平成20年度提案公募型農商工連携等研究会設置事業報告)

「カメリア属の機能性成分に関する研究開発及び商品開発」

(3) 株アック・アアコジ・ブヅィ外 鳥飼 哲夫 氏

(平成20年度提案公募型農商工連携等研究会設置事業報告)

「機能性食品マコモダケを原材料としたダイエット食品の開発」

記念講演(16:10～17:10)

明治乳業(株) 研究本部 食機能科学研究所 竹友 直生 氏

「プロバイオティクスとプレバイオティクス～開発研究の現状と応用展開」

(4) バイオイブニングカフェの開催 (補助対象外) (継続)

企業や研究者等が、一定のテーマのもとに小規模に参集し、リラックスした雰囲気の中で、話題提供や意見交換・交流を行う産学研交流会「バイオイブニングカフェ」を実施する。

平成 21 年度からは、従来の熊本での開催に加え、鹿児島地域においても開催予定。年 6 回程度の開催を予定。

4 販路開拓支援事業

(1) 地場中核事業や大手企業とのアライアンスマッチング事業(継続)

主に首都圏や関西圏からバイヤーを招致し、会員企業等との間で商談会を開催。平成 21 年度は、より機能性食品・健康食品に特化した内容で実施し、販路開拓支援セミナー (新規) との同時開催により事前のプレスリリース強化等を通じて協議会活動のより一層の PR 強化を目指す (12 ~ 2 月頃開催予定)

(2) アンチエイジングカフェ (A 2 C) (継続)

出展企業と一般消費者との間で試食・試飲後、個別面談形式にてアンケート・意見交換等を実施。機能性食品・健康食品に関する一般消費者の詳細な嗜好・行動に関する情報収集を行い出展者の事後の販路拡大戦略の参考とする (9 ~ 11 月頃、2 箇所で開催予定)

(3) 展示会出展事業 (継続)

会員企業の販路拡大、協議会活動の PR のため主に首都圏で開催される食品関連展示会に出展。機能性食品・健康食品関連に特化し最新製品・技術情報発信を目的とした「食品開発展 2008」「アグリビジネス創出フェア」等へ出展予定 (10 ~ 11 月頃開催予定)

(4) 販路開拓支援セミナー (新規)

食品表示制度、通販、機能性・健康食品関連の成功事例等、会員企業が機能性・健康食品販売上抱える諸課題の解決に資するため、各分野の専門家を招致しセミナーを開催。アライアンスマッチング (商談会) との同時開催により参加者、プレスへの PR を強化し、協議会活動の認知度向上も目指す (12 ~ 2 月頃開催予定)

5 情報提供事業

(1) 情報発信・提供事業 (継続)

協議会の活動状況、バイオ関連イベント、公募情報、ベンチャーマーケットの開催情報等につき、メールマガジン、ホームページ、会報等を通じ会員対し情報提供を実施。

また、バイオ関連企業、大学技術情報、大学特許情報等データベースの運用を行う。

メールマガジン、HPによる情報提供（通年実施）

平成20年度実績：150件（3月31日時点）

（HP新着情報：150件、活動報告35件、グラント情報12件）

会報発行（年3回 8月、12月、3月）

データベース：通年運用、随時アップデート、充実。

平成21年度 九州地域バイオクラスター推進協議会 収支予算(案)

【収入の部】	予算額	H20年度予算額	増 減	参考 (H20決算額)	備 考
会 費	6,000,000	4,662,000	1,338,000	5,664,000	会費収入 昨年度決算実績助案及び会員増を見込み
雑収入	475,000	504,000	-29,000	854,729	総会時交流会費、バイオトレーニング参加者負担金等 展示会参加者負担金補助金会計に移行により減
繰越金	4,022,543	2,245,130	1,777,413	2,245,130	H20年度決算実績額
合 計	10,497,543	7,411,130	3,086,413	8,763,859	

【支出の部】	予算額	H20年度予算額	増 減	参考 (H20決算額)	備 考
理事会・総会開催事業	1,049,600	1,078,000	-28,400	757,064	会場借料(機器等借料含)、交流会費・会議費(お茶代等)、印刷製本費(理事会・総会資料印刷費)、その他(補助職員手当、旅費等)
クラスターマネージャー配置事業	0	0	0	0	補助金にて全額対応
ネットワーク強化委員会 (企画運営委員会)事業	86,000	198,000	-112,000	0	会議費(お茶代)、その他(補助職員手当) 補助職員手当他財源振り替えによる減
地域間ネットワーク強化・構築事業	52,000	9,000	43,000	7,518	会議費(お茶代)、印刷製本費(資料印刷)、その他(補助職員手当)
ワーキンググループ(部会)設置事業	20,000	0	20,000	0	会議費(お茶代)
機能性評価等支援事業	0	0	0	0	補助金にて全額対応
事業化案件発掘事業	1,115,000	0	1,115,000		委員等謝金(外部専門家謝金)、委員等旅費(外部専門家等旅費)、 会場借料等(外部専門家招致時)、会議費(お茶代等) 試作研究助成 900,000(300,000×3件) 新規事業
IMと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業	20,000	0	20,000	10,200	会議費(お茶代)
フードバイオビジネススクール(経営者教育)事業	0	0	0	0	補助金にて全額対応
バイオトレーニング	350,000	0	350,000	144,312	実習材料費350,000(半額25,000/50,000は自己負担) 参加者最大10名見込み
研究機関現地研修会	268,200	270,000	-1,800	54,652	使用賃借料(バス借上)200,000 会議費(お茶代)、その他(補助職員手当、旅費等) 借上バス大型化に伴う増
九州地域バイオベンチャーフォーラム	100,000	0	100,000	0	会場・機器等借料及び会議費(お茶代)
バイオイブニングカフェ	315,600	0	315,600		バイオイブニングカフェ熊本、鹿児島開催に伴う会場借料その他 (年6回×2地域=12回程度)
アライアスマッチング事業	215,000	0	215,000	28,662	会議費(バイヤーお茶代)、消耗品費(試食用トレイ、ナフキン) 負担金(セルサービス協会 入会金+年会費)
アンチエイジングカフェ(A2C)	150,000	180,000	-30,000	158,000	モニター謝礼(商品券)、会議費(モニターお茶代)
展示会出展事業	0	1,100,000	-1,100,000	444,000	出展小間代、造作費の他財源への移行に伴う減
販路開拓支援セミナー	4,000	0	4,000		会議費(講師等お茶代)
情報発信提供事業	2,104,200	2,570,000	-465,800	2,304,953	会報委託費 2,000,000 印刷製本費(パンフ、封筒)、その他(補助職員手当)
参考: H20年度終了及び整理統合事業	0	1,240,000	-1,240,000	693,030	九州地域バイオ関連企業DB 600,000(H21より情報提供(補助)へ) 各種ハンチャーマーケットとの交流事業 90,000(H21より情報提供へ) 国際マーケティング支援事業550,000(H20年度で終了) 事業整理及び他財源への移行に伴う減
事務局管理費	200,000	200,000	0	138,925	昨年度並み
予備費	100,000	100,000	0	0	昨年度並み
繰越金	4,347,943	466,130	3,881,813	4,022,543	
合 計	10,497,543	7,411,130	3,086,413	8,763,859	